

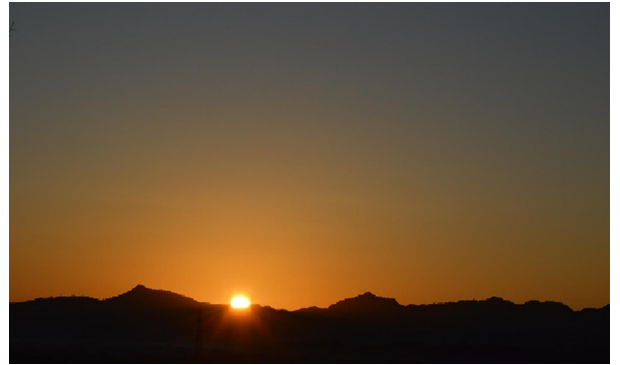
# 鶯巣コセン便り



第500号（令和8年1月5日）  
発行：鶯巣コミュニティセンター

電話：21-0174 Fax：21-0176  
E-mail：tobisu-cc@local.city.izumo.shimane.jp

■人口：1,574人（前月+1人）  
■12月のコミセン利用者： 人



【都我利神社からの初日】

## 益田市に学ぶ ～持続可能な地域づくりは「ひとづくり」から～

12月1日（月）、「持続可能な地域づくりは人づくりから」をテーマにコミセン運営委員、事業委員、自治協会、女性災害サポート隊など30人が視察研修に益田市へ出かけました。

午前中は、島根県立石見美術館で開催されていた展覧会「生誕100年 森英恵ヴァイタル・タイプ」を見学しました。

午後は、市街地から10分ほどに位置する豊川公民館に移動し「NPO法人おむすび」の大畑伸幸代表から、未来を担う子供たちと地域の関わりについて多くの実践を踏まえた話を聞きました。その中で「子供たちと地域のおじさん、おばさんなど異年代の人との関わりをつくり、地区の課題や目指す地域像を語り合うことが大切。そして、若者のまちづくり意欲を引き出すことで持続可能な地域ができる。」との言葉が心に残りました。

今年も鶯巣コミュニティセンターは「未来へつなぐ元気！やさしさ！幸せあふれるまち鶯巣」を目指して、各種団体や地区内外の皆様と協働で、「まちづくり、ひとづくり」に取り組んでいきます。今年も変わりませず、鶯巣コミュニティセンターをよろしくお願い致します。



【大畑氏の講演風景】



【豊川公民館で記念撮影】

## 視察受入れ：石見まちづくりセンター

11月29日（土）、浜田市石見まちづくりセンターの皆さん18人が鶯巣コミュニティセンターに視察研修に来られました。鶯巣地区からは自治協会、放課後子ども教室ゆめ広場、女性災害サポート隊などから13人が出席しました。

センター長から鶯巣地区の紹介をした後、「まちづくり、地域活動」「幼稚園・小・中・高校・大学との連携」「防災」をテーマに5グループに分かれ、意見交換や情報交換をしました。

二つの地区の規模や環境は違いますが、抱えている課題は同じで、共通なテーマをもとに忌憚のない意見交換ができました。また、グループトークの中にたくさんの学びや今後の活動につがるヒントがあり、とても有意義な視察交流会となりました。

【出席者で記念撮影】



【グループトーク風景】

